

# 点訳フォーラム活用のヒント

2021年3月1日作成

1. 「点字表記の語例」について
2. 「点訳に関する質問にお答えします」について
3. 読み上げソフトで利用する際の注意点

## 1. 「点字表記の語例」について

点訳する上で表記に迷う語などを多く収載し、『点訳のてびき 第4版』に準拠した表記を示しています。

当サイトに質問として寄せられた語なども検討の上適宜収載し、定期的に追加更新しています。

収載範囲は基本的に『点訳のてびき』第2章・第3章に対応する語例です。

語の一部にパーセント記号やアットマーク記号などを含む場合もありますが、原則として第4章・第5章に関する表記は対象としていません。

### 【検索方法】

・ジャンルを「一般」「医学用語」「すべて」から選択します（ラジオボタン方式でスペース選択）。

医学用語に収載している語例は病名・病態名、人体部位名、治療に用いられる薬剤名、東洋医学関係用語、漢方薬名などです。

これ以外は「一般」に収載しています（方言なども含む）。

ただし、「理化学用語」と注記（【表示項目】参照）している語の中には、医学的な分野で出会うことの多い語も含まれています。医学関連の内容を扱う資料にある用語などは、あらかじめ「すべて」に切り替えて検索することをお勧めします。

・検索方法は「部分一致AND検索」「部分一致OR検索」「前方一致」「後方一致」「完全一致」から選択します（プルダウン方式でスペース選択）。

・検索ワード入力エリアに検索したい言葉を入力します。

仮名（カタカナ・ひらがな）、漢字かな交じり、数字、アルファベットいずれでも検索できます。

数字・アルファベットは全角・半角、大文字・小文字、いずれでも検索できます。

・検索ボタンをクリックすると、ヒットした件数と検索結果が表示されます。

検索結果は一画面内に表示されますので、件数が多い場合は下方にスクロールしながら確認してください。

## 【表示項目】

「読み」欄：和語はひらがな、漢語と外来語はカタカナで表示

※語種を確認することが表記の理解に役立つ場合があります（「ウ」と書くか長音符を用いるかの判断、複合名詞中の2拍の語を続ける成分として扱うか区切る成分として扱うかの判断など）。

「漢字仮名交じり表記」欄：「読み」欄の語を漢字仮名交じり、数字・アルファベットなどを用いて表した表示

ただし「をりがみ教室」のように歴史的仮名遣いを含む表記や「つのだ☆ひろ」などの特殊な表記、「赤wine」のように特別な書き方をする場合について、墨字の書き方を示すために「漢字仮名交じり表記」欄を用いている場合もあります。

「点字表記」欄：文字はカタカナで表示、数符は「数」、外字符は「外」、大文字符は「大」、外国語引用符は開き・閉じとも「引」、スペースは■、つなぎ符は＝、1～6の点は①②③④⑤⑥と表記

「注記」欄：表記の理解の助けになる場合などに必要に応じて補記

(注記例)

・「タ行のヅ」など

音声で利用する場合にサ行とタ行の文字を区別できるように、タ行の「ヂヅヂャヂュヂョ」を含む語に記載

・〇〇も可

「クライ」と「グライ」、「数1000」と「セン」、ローマ数字と数符を用いて書く数字など、複数の書き方（読み方）ができる場合に、点字表記欄に示した以外の書き方を表示

・〇〇は助詞

「して」がサ変動詞でなく助詞である場合に続けて書くことの根拠として

「もの」が形式名詞でなく助詞である場合に続けて書くことの根拠として

「ん」が助詞で「の」と同じ働きをしていることを示すため

・〇〇は接尾語（接頭語）

続けて書くことの根拠として

・〇〇はマスあけを含む全体にかかる造語要素

語頭の造語要素の後ろを区切って書くことの根拠として

・複合動詞からの転成

複合名詞を続けて書くことの根拠として

- ・〇〇は固有名詞

拍数に関わらず区切る成分として扱うことが語の切れ続きに影響する場合に記載  
仮名書きの固有名詞について原文の表記に従うことの根拠として  
数字が含まれていても仮名で書くことの根拠として

- ・〇〇は普通名詞

「さん」「様」などを続けて書くことの根拠として

- ・方言や特殊な分野・限られた年代で使われる語などについて、語の意味を説明
- ・表記の根拠となる語の由来や成り立ちを説明
- ・「理化学用語」「地名」「動物名」「植物名」「単位記号」など、語のジャンルを表示

### 【各検索の特徴と活用例】

部分一致AND検索：間にスペースを入れて複数の語を入力した場合、すべてを含むものを抽出

(例)「相」と「する」⇒「アイ■キョーリョク■スル」「アイ■コオー■スル」「アイタイスル」「アイハンスル」など

※「相協力する」の表記を調べる場合でも、上記の検索結果を一覧することによって応用力が身に付きます。

(例)「他」と「ほか」⇒「コノ■ホカ」「ソノ■ホカ」「ホカナラヌ」など

※漢字の読み方を限定して抽出することができます。

部分一致OR検索：間にスペースを入れて複数の語を入力した場合、いずれかを含むものを抽出

(例)「なさる」と「なさい」⇒「アキラメナサイ」「オヨミ■ナサル」「ノンビリ■ナサイ」など

※検索したい語が別の形で収載されている場合などにも便利です。

(例)「マイクロ」と「 $\mu$ 」⇒「数1マイクロメートル」「数1外④m」など

※記号の書き方と仮名で書く場合の切れ続きなど、必要なことを同時に確認できます。

前方一致検索：入力した語を先頭に含むものを抽出

(例)「新」⇒「シンオオサカ」「シンカナヅカイ」「シン■ソーゴー■プラン」「シン■ハムレット」など

※接頭語を一覧したい場合に便利です。

(例)「右」⇒「ミギアシクビ」「ミギ■ジョーワンプ」「ミギハンドル」「ミギ■ハンブン」など

※「左右」「座右」などを含む語は除いて一覧できます。

後方一致検索：入力した語を末尾に含むものを抽出

(例)「シップ」⇒「インターンシップ」「スキンシップ」「フラッグ■シップ」など

※接尾語を一覧したい場合や、接尾語と区別が必要な語を確認する場合などに便利です。

(例)「島」⇒「アマミ■オオシマ」「オキノシマ」「サンマルタントー」「ダイ■スندا■レットー」など

※「〇〇湖」「〇〇岬」「〇〇山」「〇〇半島」などの形で固有名詞を抽出できません。

完全一致検索：入力語と完全に一致するもののみを抽出

(例)「カクシ」⇒「カクシ (各誌、各紙)」「カク■シ (各市、各氏)」

※不要な語を混在させたくない場合など。

#### 【注意事項】

・このシステムでは「読み」欄と「漢字仮名交じり表記」欄から入力条件と一致するものを抽出しますので、点字表記欄に用いているマスあけやつなぎ符を示す記号を入れて検索することはできません。「数」「引」などを入力すると、その漢字を含む語が検索対象となります。

・「読み」欄は、国語辞典の見出し語のイメージで、漢字で書けるところはすべて漢字で表記していますので、語の一部を漢字で入力するとヒットしない場合があります。

たとえば検索語を「塩こしょう」とすると「該当なし」となりますが、「しおこしょう」または「塩胡椒」と入力するか、「塩」と「こしょう」をAND検索の形にすると「塩胡椒する」がヒットします。

・「読み」欄は、「漢字仮名交じり表記」欄の語の読み方を規定するものではありません。

たとえば「漢字仮名交じり表記」欄に「私」を含む語が多くありますが、対応する「読み」欄の「わたくし」「わたし」はそれぞれの場合の読み方を示しているのではなく、「読み」欄の語に含まれる「わたくし」「わたし」を漢字で書くと「私」となることを表しています。

・ 検索ワードとして、数字やアルファベットの読みを仮名で入れることもできますが、「A型」を仮名で検索する場合は「エイガタ」(×「エーガタ」)とするなど、「読み」欄の表記と同じでないとヒットしません。

## 2. 「点訳に関する質問にお答えします」について

「点訳に関する質問にお答えします」は、点訳フォーラム開設時に準備した『点訳のてびき 第4版』に関するQ&Aに、「お問い合わせ/質問」から寄せられた質問と回答の中から多くの方に参考にしていただきたいQ&Aを選んで、毎月追加しています。

「てびき」の目次順に掲載していますので、疑問解決の一助として、回答の根拠などにも注意しながらご確認くださいと思います。

「点訳に関する質問にお答えします」の目次から、該当の項目をクリックして各ページにアクセスしてください。

「てびき」の項目ごとに番号を割り当てていますが、新たに追加した項目には番号を振らず【新】と赤字で入れています。

この【新】は、翌月に項目を追加するときには【新】を消して番号を割り当てますので、毎月質問に割り当てられた番号は変わることになります。

そこで、知りたい項目を検索するために「点訳に関する質問にお答えします」には、ページ内検索の機能を付けてありますので、疑問に関する内容について語句・記号の読み等を検索して活用してください。

「Googleカスタム検索」の窓が各ページの上部にあります。

ここで例えば、「伏せ字」と入れて検索すると

- ・ 第4章 記号類の使い方(4)
- ・ 第4章 記号類の使い方(3)
- ・ 参考資料
- ・ Q&A目次
- ・ 第2章 語の書き表し方
- ・ 第4章 記号類の使い方(7)

以上、6件がヒットします。

「Q&A目次」は全体の目次、「第4章 記号類の使い方(4)」は「伏せ字とマーク類」の項目ですから、ここ以外に、「記号類の使い方(3)」「記号類の使い方(7)」

「参考資料」「第2章 語の書き表し方」の4カ所にも「伏せ字」に関するQ&Aが

掲載されていることが分かります。この検索は、どのページで行っても同じ結果になります。

ここで、「第2章 語の書き表し方」のページを選択してみます。

すると「その1 仮名遣い」の先頭に飛びます。そこにも「Googleカスタム検索」の窓がありますが、そこで検索しても上記と同じ結果になりますのでご注意ください。

ここでは、ショートカットキー「Ctrl+F」（コントロールキーを押しながらアルファベットのFキーを押す）を使用してください。

画面上部のメニューバーの下に「ページ内検索」の窓が開きます。そこに「伏せ字」と入れて検索すると、このページの中の「伏せ字」という言葉が、すべて色反転で表示されます。ここでは「伏せ字のあとに（第1つなぎ符をはさんで）長音符を書くことはできますか。」という質問と回答があることが分かります。

Q&Aは増え続けますので、素早く読みたい項目を効果的に探すために活用してください。

#### 【「Googleカスタム検索」を利用するときの注意点】

- ・ 検索結果の画面には広告も表示されます。
- ・ 検索する語によって、検索結果に「点訳フォーラム」以外のページも表示されます。「点訳フォーラム」の記載を確かめてそのページを選択するようにしてください。
- ・ 検索時に、スペースをはさんで、複数の語を入力して検索することができます。検索結果として、その複数の語が存在するページが表示されます。
- ・ 「Googleカスタム検索」の表示のある、どのページで検索しても同じ結果が表示されます。さらに的を絞って検索するには、該当のページに飛んでから「Ctrl+F」で検索します。

なお、Q&Aは、ある程度まとまったところで、「〇年〇月版」として、資料集にデータ（PDF・BES）を載せます。ダウンロードして、勉強会などにお使いください。

### 3. 読み上げソフトで利用する際の注意点

点訳フォーラムは、読み上げソフト「PC-Talker」で問題なく利用できますが、ブラウザによっては注意点があります。

<PC-Talkerで利用できるブラウザと注意点>

- ①NetReader（視覚障害者専用音声ブラウザ）

## ②IE + PC-Talker

## ③Edge + PC-Talker

【注意点】 Edge は、必ず最新版をお使いください。古いバージョンでは、検索語入力画面で日本語入力時の読み上げがないなど読み上げが不十分だったり、キーボードによる操作ができないなどの問題がありました。最新版にすることで、IE と同等の読み上げと操作が可能となります。最新版にするにはWindowsアップデートを実行します。これにより、Edge も最新になります。

ただし、自動アップデートに設定している方も多いかと思いますが、すべてこれで最新になるわけではありませんので注意が必要です。ときどき手動で確認することをお勧めします。また、PC-Talker も最新版をお使いください。

## ④Chrome + PC-Talker

【注意点】 PC-Talker のブラウザ設定で「ダイレクト操作キー」に設定している場合、検索条件指定画面（コンボボックスと読み上げる）で、条件選択に使用する[Ctrl]+[↑][↓]が機能しません。この場合は、[Esc]+[↑][↓]で代用してください。なお、この操作は「Edge」にも共通です。